

## 第1章 医療施設及び医療従事者の状況

# 第1章 医療施設及び医療従事者の状況

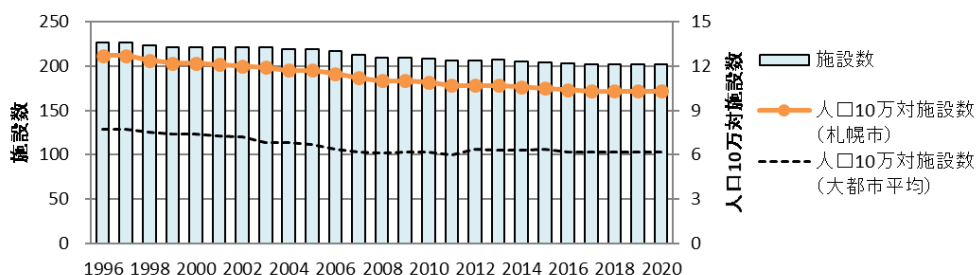
本章では、医療施設や病床の数、特殊診療設備、従事者などの状況を示す。

## 1 医療施設数

### (1) 病院

札幌市内の病院数は減少傾向にあり、2020年には202施設となった。人口10万人当たりの病院数は、2020年の大都市平均<sup>1</sup>では6.2施設、札幌市では10.3施設となっている。

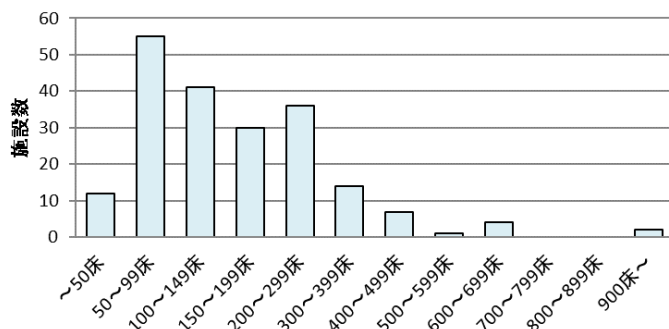
図1-1 病院数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

また、2020年の札幌市における病床規模別の病院数は図1-2のとおりである。

図1-2 病床規模別の病院数(2020年、札幌市)

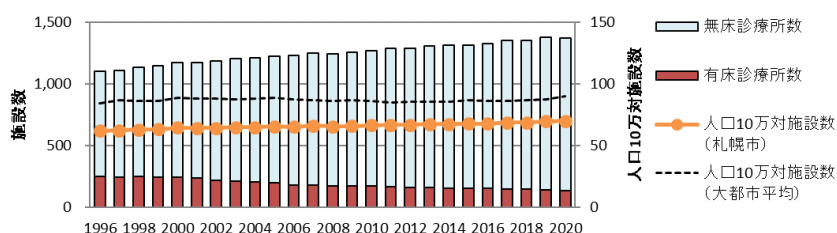


(厚生労働省「医療施設調査」)

### (2) 一般診療所

札幌市内の一般診療所<sup>2</sup>数は徐々に増加し、2020年には1,375施設(有床診療所137施設、無床診療所1,238施設)となった。人口10万人当たりの診療所数は、2020年の大都市平均では89.9施設、札幌市では70.2施設となっている。

図1-3 一般診療所数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

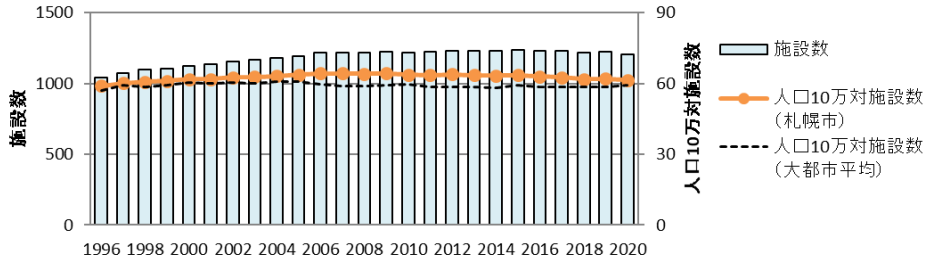
<sup>1</sup> 大都市平均の定義については巻末資料「2 政令指定都市の変遷」に記載

<sup>2</sup> 医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う診療所(歯科医業のみを行う診療所を除く。)

(3) 歯科診療所

札幌市内の歯科診療所数は、徐々に増加した後ほぼ横ばいに推移し、2020年には1,205施設となった。人口10万人当たりの診療所数は、2020年の大都市平均では59.3施設、札幌市では61.5施設となっている。

図 1-4 歯科診療所数の推移



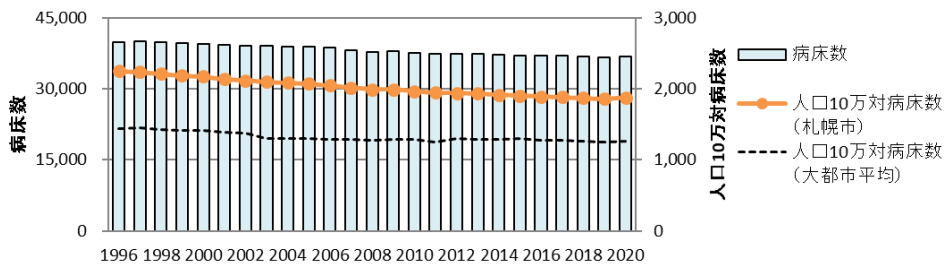
(厚生労働省「医療施設調査」)

2 病院の病床数

(1) 総病床数

札幌市内の病院の総病床数は減少傾向にあり、2020年には36,720床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では1259.6床、札幌市では1873.9床となっている。

図 1-5 総病床数の推移

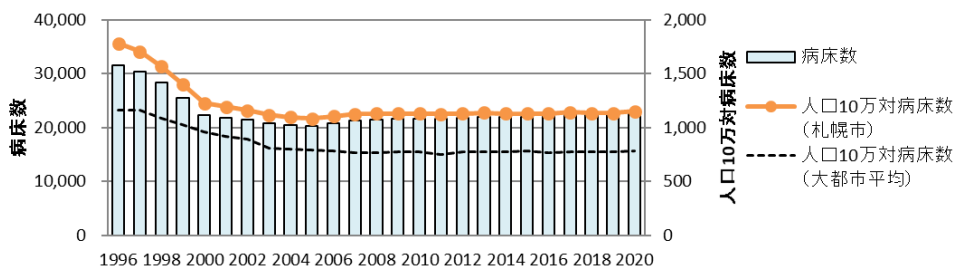


(厚生労働省「医療施設調査」)

(2) 一般病床

札幌市内の病院の一般病床<sup>3</sup>数は2003年以降ほぼ横ばいであり、2020年には22,572床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では785.8床、札幌市では1,151.9床となっている。

図 1-6 一般病床数の推移



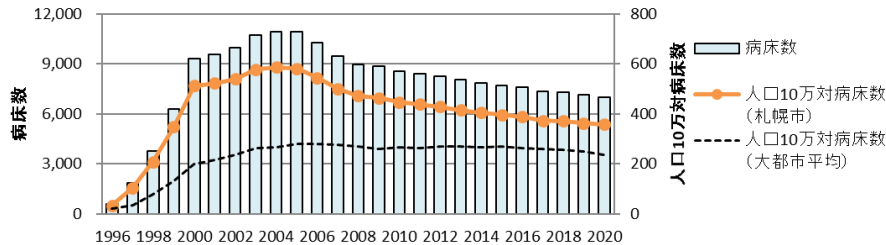
(厚生労働省「医療施設調査」)

<sup>3</sup> 2000年までは「その他の病床」のうち「療養型病床群」を除いたもの、2001年及び2002年は「一般病床」及び「経過的旧その他の病床（経過的旧療養型病床群を除く。）」

### (3) 療養病床

札幌市内の病院の療養病床<sup>4</sup>数は 2004 年をピークにその後減少しており、2020 年には 7,016 床となった。人口 10 万人当たりの病床数は、2020 年の大都市平均では 234.7 床、札幌市では 358.0 床となっている。

図 1-7 療養病床数の推移

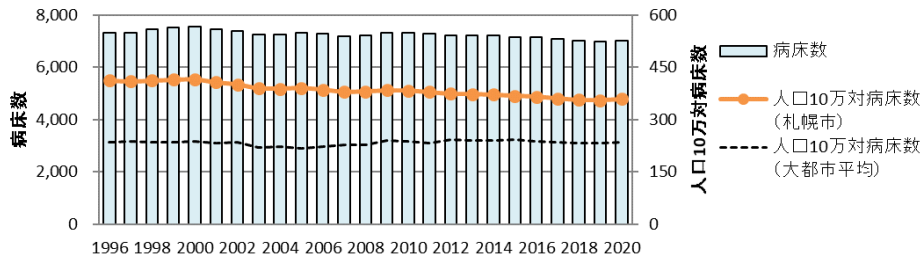


(厚生労働省「医療施設調査」)

### (4) 精神病床

札幌市内の病院の精神病床数はほぼ横ばいで推移し、2020 年には 7,028 床となった。人口 10 万人当たりの病床数は、2020 年の大都市平均では 234.5 床、札幌市では 358.7 床となっている。

図 1-8 精神病床数の推移

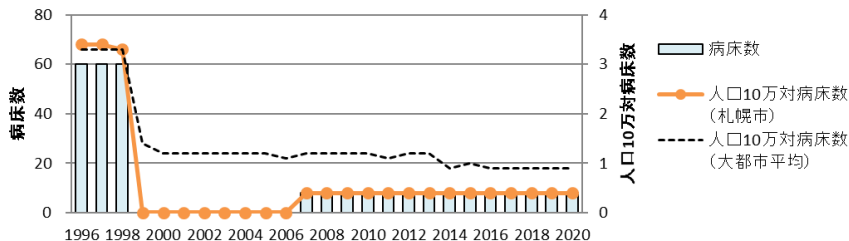


(厚生労働省「医療施設調査」)

### (5) 感染症病床

札幌市内の病院の感染症病床<sup>5</sup>数は 1999 年から 2006 年までは 0 床であった<sup>6</sup>が、2007 年に市立札幌病院で 8 床設置された。人口 10 万人当たりの病床数は、2020 年の大都市平均では 0.9 床、札幌市では 0.4 床となっている。

図 1-9 感染症病床数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

<sup>4</sup> 2000 年までは「療養型病床群」、2001 年及び 2002 年は「療養病床」及び「経過的旧療養型病床群」

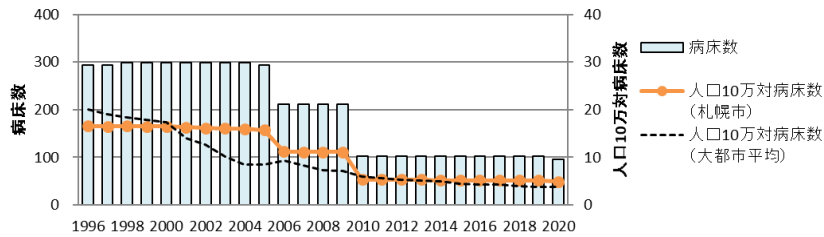
<sup>5</sup> 1999 年 3 月までは「伝染病床」

<sup>6</sup> 札幌市では 1999 年 3 月に伝染病床が 0 床となり、2007 年 5 月に感染症病床が設置された。医療施設調査は 10 月 1 日現在の状態を示すため、1999 年は 0 床、2007 年は 8 床となる。

## (6) 結核病床

札幌市内の病院の結核病床数は段階的に減少し、2020年には96床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では3.7床、札幌市では4.9床となっている。

図 1-10 結核病床数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

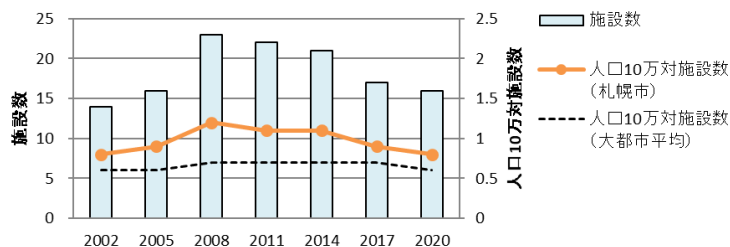
## 3 病院が有する特殊診療設備

本項では、医療施設調査（厚生労働省）のデータを基に、病院における特殊診療設備（施設基準又は要件を満たすもの）の設置状況を示す。

### (1) ICU

札幌市内のICU（特定集中治療室）を持つ病院数は2008年をピークにやや減少し、2020年には16施設となった。人口10万人当たりの病院数は、2020年の大都市平均では0.6施設、札幌市では0.8施設となっている。

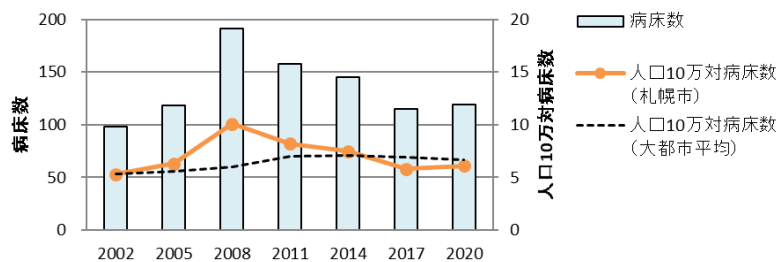
図 1-11 ICUを有する病院数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

また、札幌市内の病院にあるICUの病床数も、2008年をピークにやや減少し、2020年には119床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では6.7床、札幌市では6.1床となっている。

図 1-12 ICUの病床数の推移

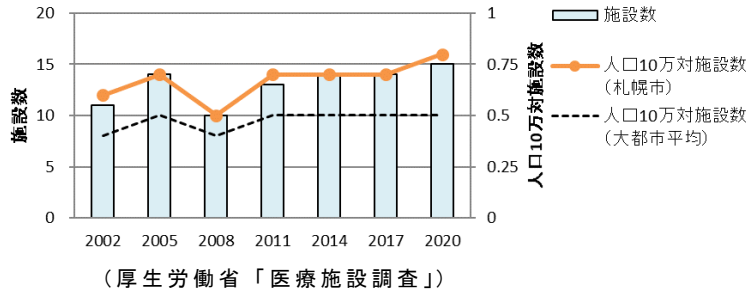


(厚生労働省「医療施設調査」)

## (2) 無菌治療室

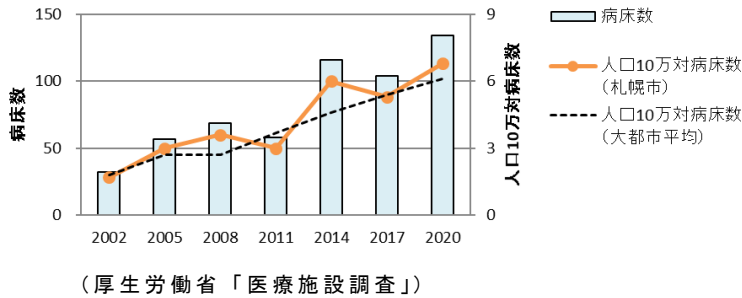
札幌市内の無菌治療室（手術室を除く。）を持つ病院数は年によって変動し、2020年には15施設となった。人口10万人当たりの病院数は、2020年の大都市平均では0.5施設、札幌市では0.8施設となっている。

図 1-13 無菌治療室を有する病院数の推移



また、札幌市内の病院にある無菌治療室（手術室を除く。）の病床数は大きく増加し、2020年には134床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では6.1床、札幌市では6.8床となっている。

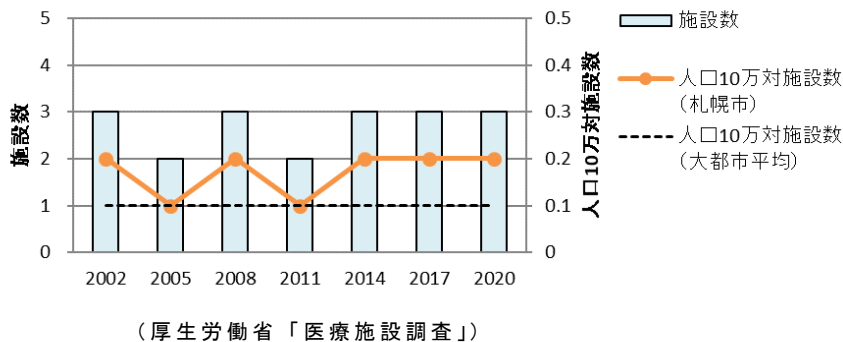
図 1-14 無菌治療室の病床数の推移



## (3) 放射線治療病室

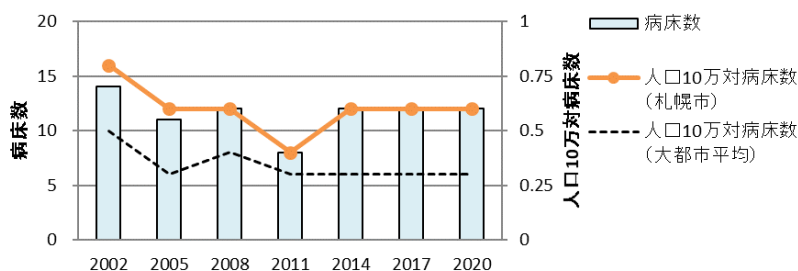
札幌市内の放射線治療病室を持つ病院数はほぼ横ばいで推移し、2020年には3施設となった。人口10万人当たりの病院数は、2020年の大都市平均では0.1施設、札幌市では0.2施設となっている。

図 1-15 放射線治療病室を有する病院数の推移



また、札幌市内の病院にある放射線治療病室の病床数もほぼ横ばいで推移し、2020年には12床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では0.3床、札幌市では0.6床となっている。

図 1-16 放射線治療病室の病床数の推移

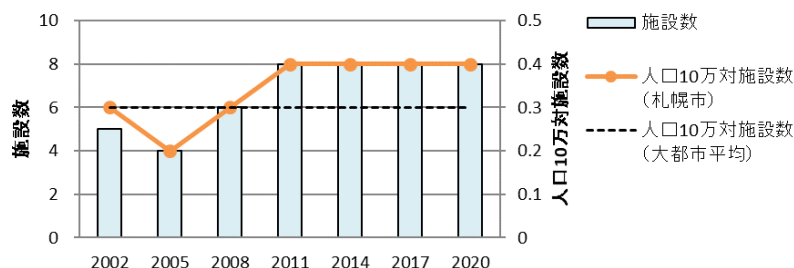


(厚生労働省「医療施設調査」)

#### (4) NICU

札幌市内のNICU（新生児特定集中治療室）を持つ病院数は2005年からやや増加し、2020年には8施設となった。人口10万人当たりの病院数は、2020年の大都市平均では0.3施設、札幌市では0.4施設となっている。

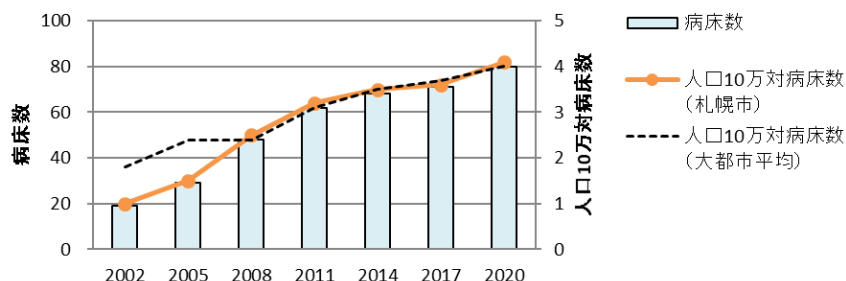
図 1-17 NICUを有する病院数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

また、札幌市内の病院にあるNICUの病床数は大きく増加し、2020年には80床となった。人口10万人当たりの病床数は、2020年の大都市平均では4.0床、札幌市では4.1床となっている。

図 1-18 NICUの病床数の推移



(厚生労働省「医療施設調査」)

## 4 医療従事者数

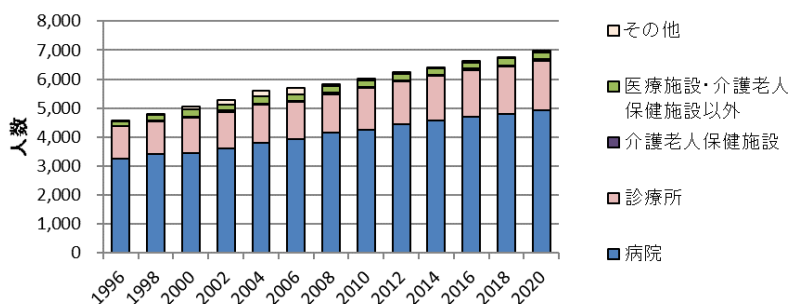
本項では、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査及び病院報告（厚生労働省）のデータを基に、医療従事者の人数や年齢などを示す。

### (1) 医師

#### ア 札幌市内の医師

札幌市内の医師数は増加し続け、2020年には6,978人となった。勤務する施設<sup>7</sup>別でも各施設で人数が増加しているが、病院が約70%、診療所<sup>8</sup>が約25%という傾向に変化はない。

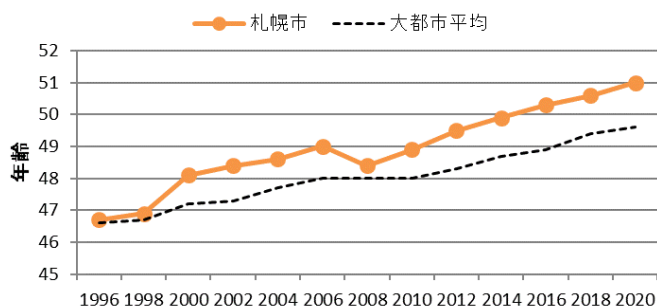
図 1-19 施設別の医師数の推移



(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」)

また、医師の平均年齢は徐々に上がっており、1996年から2020年にかけて大都市平均では約3歳（46.6歳→49.6歳）、札幌市では約4歳（46.7歳→51.0歳）上がった。

図 1-20 医師の平均年齢の推移



(厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」)

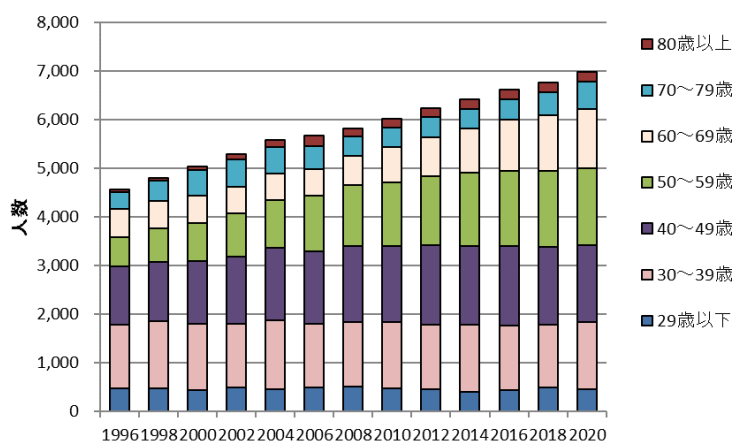
<sup>7</sup> 「医療施設・介護老人保健施設以外」には、「教育機関の臨床系以外の勤務者・大学院生」「教育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者」「行政機関・産業医・保健衛生業務の従事者」が含まれる。「その他」には、「その他の業務の従事者」「無職の者」「不詳」が含まれる。ただし、2000年までは、調査票に「産業医」の項目はなかった。

<sup>8</sup> 「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、一般診療所と歯科診療所の区別はない。



札幌市の年代別医師数では、1996年から2020年にかけて50代（601人→1,585人）と60代（587人→1,219人）が顕著に増加した。

図 1-21 札幌市の年代別医師数

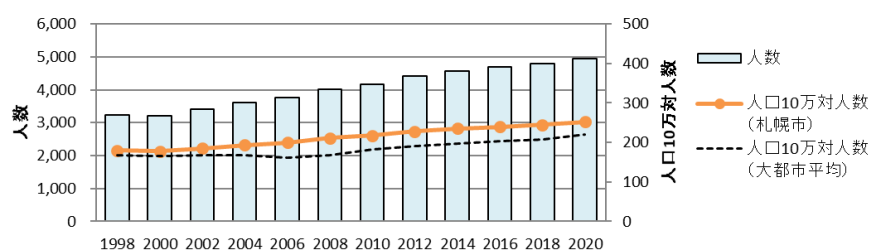


（厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

### イ 病院に勤務する医師

札幌市内の病院に勤務する医師数は1997年から2000年までは横ばいであったが、その後は徐々に増加し、2020年には4,937.0人<sup>9</sup>となった。人口10万人当たりの医師数は、2020年の大都市平均では220.3人、札幌市では251.9人となっている。

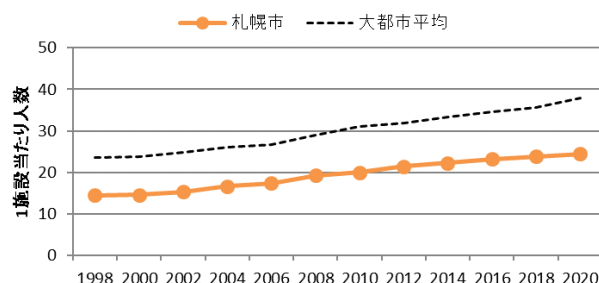
図 1-22 病院に勤務する医師数の推移



（厚生労働省「病院報告」）

病院1施設当たりの医師数は徐々に増加し、2020年の大都市平均では38.0人、札幌市では24.4人となっている。

図 1-23 病院1施設当たりの医師数の推移

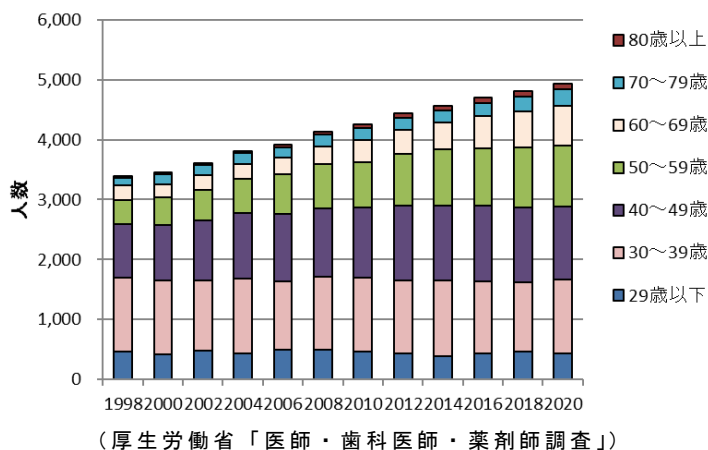


（厚生労働省「病院報告」）

<sup>9</sup> 常勤換算後の人数

札幌市の病院に勤務する年代別医師数では、1998年から2020年にかけて50代（403人→1,021人）と60代（237人→662人）が顕著に増加した一方、20代（464人→435人）は減少し、30代（1226人→1227人）はほぼ横ばいとなっている。

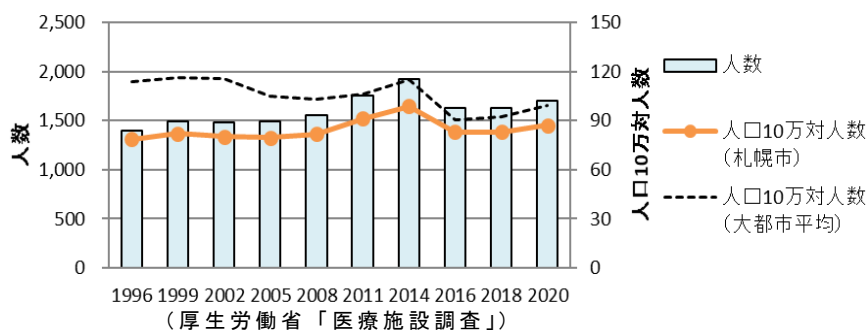
図 1-24 札幌市の病院における年代別医師数



### ウ 一般診療所に勤務する医師

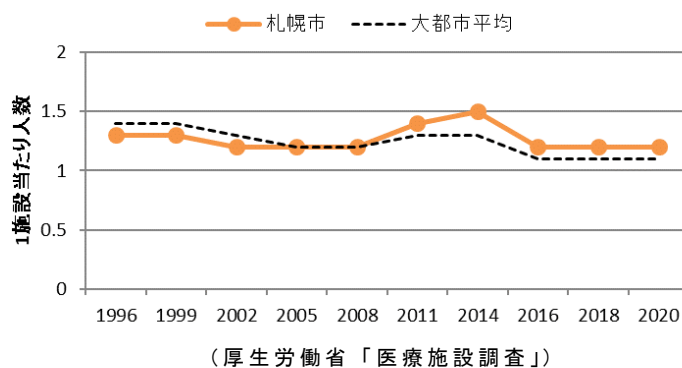
札幌市内の一般診療所に勤務する医師数はほぼ横ばいであり、2020年には1,704.0人<sup>10</sup>となった。人口10万人当たりの医師数は、2020年の大都市平均では99.0人、札幌市では87.0人となっている。

図 1-25 一般診療所に勤務する医師数の推移



一般診療所1施設当たりの医師数はほぼ横ばいであり、2020年の大都市平均では1.1人、札幌市では1.2人となっている。

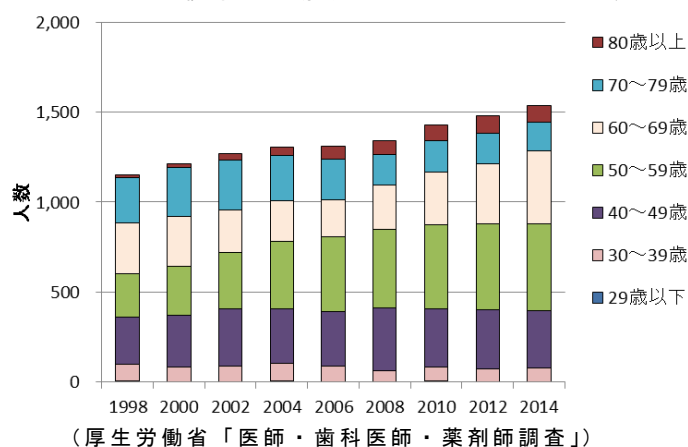
図 1-26 一般診療所1施設当たりの医師数の推移



<sup>10</sup> 常勤換算後の人数

札幌市の診療所<sup>11</sup>に勤務する年代別医師数では、1998年から2020年にかけて50代（239人→488人）と60代以上（283人→489人）が顕著に増加した一方、20代（6人→9人）と30代（92人→92人）はほぼ横ばいとなっている。

図 1-27 札幌市の診療所における年代別医師数

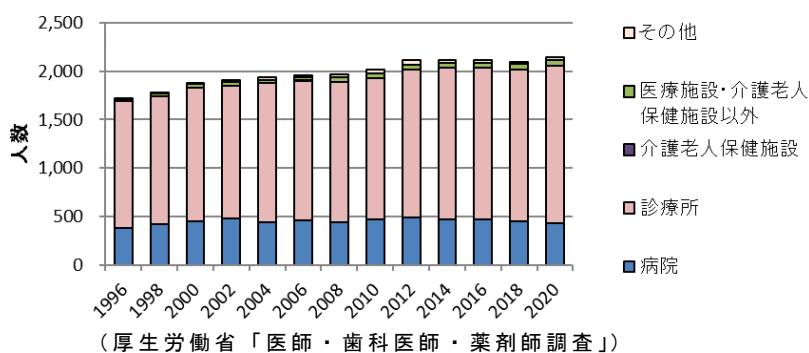


## (2) 歯科医師

### ア 札幌市内の歯科医師

札幌市内の歯科医師数は徐々に増加し、2020年には2,142人となった。勤務する施設<sup>12</sup>別でも各施設で従事者が増加しているが、その割合は病院が約20%、診療所が約75%という傾向に変化はない。

図 1-28 施設別の歯科医師数の推移



### イ 歯科診療所に勤務する歯科医師

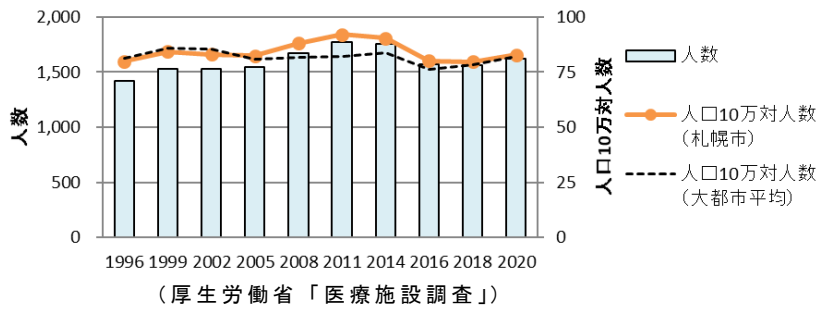
札幌市内の歯科診療所に勤務する歯科医師の数は2008年以降ほぼ横ばいであり、2020年には1,624.0人<sup>13</sup>となった。人口10万人当たりの歯科医師数は、2020年の大都市平均では82.2人、札幌市では82.9人となっている。

<sup>11</sup> 「医師・歯科医師・薬剤師調査」では、一般診療所と歯科診療所の区別はない。

<sup>12</sup> 「医療施設・介護老人保健施設以外」には、「医育機関の臨床系以外の勤務者・大学院生」「医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者」「行政機関・保健衛生業務の従事者」が含まれる。「その他」には、「その他の業務の従事者」「無職の者」「不詳」が含まれる。

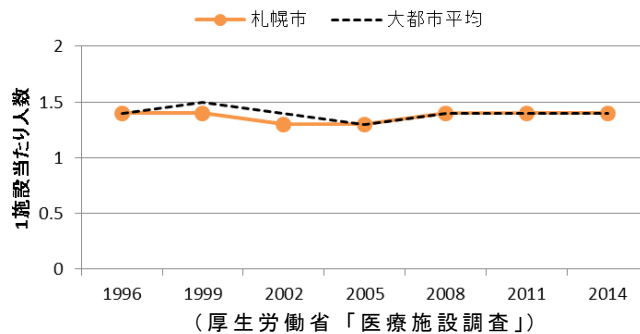
<sup>13</sup> 常勤換算後の人数

図 1-29 歯科診療所に勤務する歯科医師数の推移



歯科診療所1施設当たりの歯科医師数はほぼ横ばいであり、2020年の大都市平均では、1.4人、札幌市では1.3人となっている。

図 1-30 歯科診療所1施設当たりの歯科医師数の推移

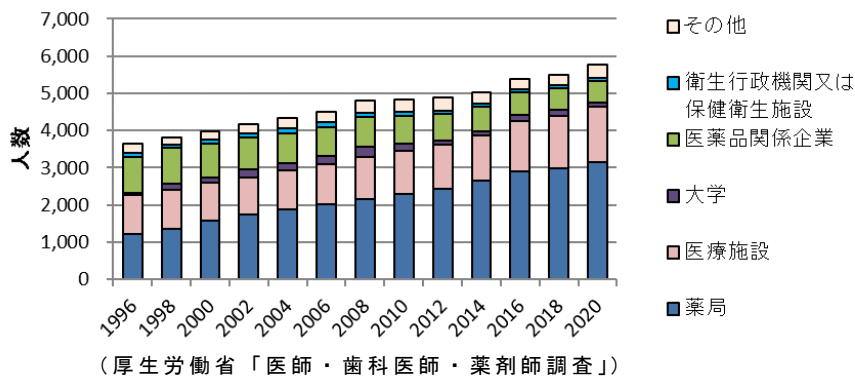


### (3) 薬剤師

#### ア 札幌市内の薬剤師

札幌市内の薬剤師数は徐々に増加し、2020年には5,758人となった。勤務する施設別では、1996年から2020年にかけて、薬局(1,215人→3,161人)と医療施設(1,056人→1,474人)が増加した一方、医薬品関係企業(983人→580人)は減少した。

図 1-31 施設別の薬剤師数の推移



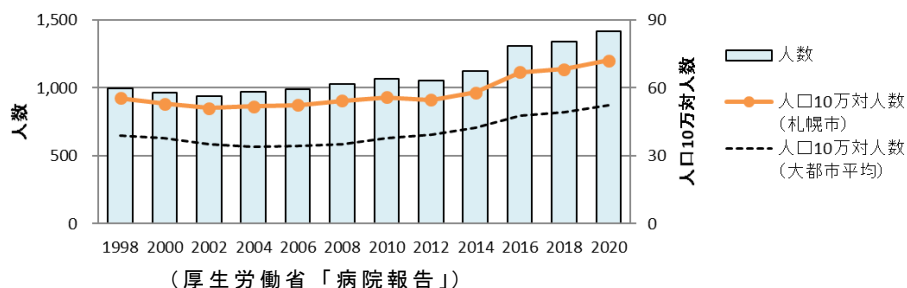
#### イ 病院に勤務する薬剤師

札幌市内の病院に勤務する薬剤師数は1997年から2014年まではほぼ横ばいであったが、その後は徐々に増加し、2020年には1414.0人<sup>14</sup>となった。人口10万人当たりの薬剤師数は、2020年の大都市平均では52.3人、札幌市で

<sup>14</sup> 2001年までは実人数、2002年以降は常勤換算後の人数

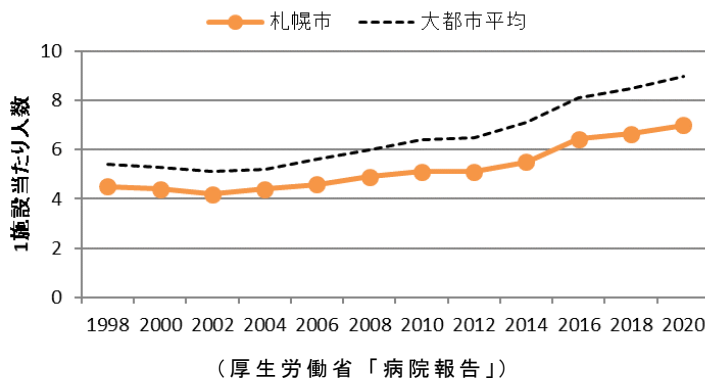
は 72.2 人となっている。

図 1-32 病院に勤務する薬剤師数の推移



病院 1 施設当たりの薬剤師数は徐々に増加し、2020 年の大都市平均では 9.0 人、札幌市では 7.0 人となっている。

図 1-33 病院 1 施設当たりの薬剤師数の推移

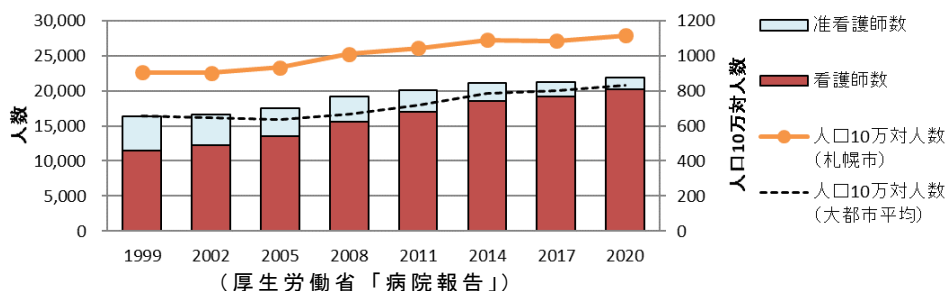


#### (4) 看護師及び准看護師

##### ア 病院に勤務する看護師及び准看護師

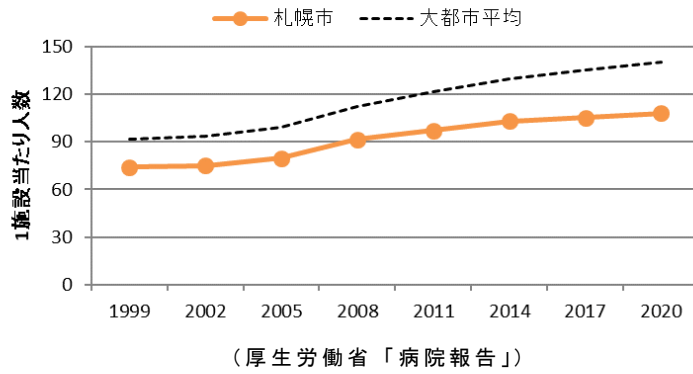
札幌市内の病院に勤務する准看護師の数は 1997 年から徐々に減少しているが、看護師の数が増加し続けているため、その合計人数も徐々に増加し、2020 年には 21,821.8 人<sup>14</sup>となった。人口 10 万人当たりの看護師及び准看護師の合計数は、2020 年の大都市平均では 832.1 人、札幌市では 1,113.6 人となっている。

図 1-34 病院に勤務する看護師・准看護師数の推移



病院 1 施設当たりの看護師及び准看護師の合計数も増加し、2020 年の大都市平均では 140.5 人、札幌市では 108.0 人となっている。

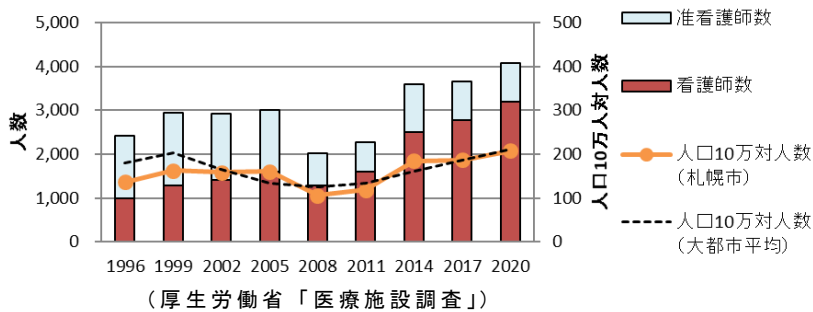
図 1-35 病院 1 施設当たりの看護師・准看護師数の推移



イ 一般診療所に勤務する看護師及び准看護師

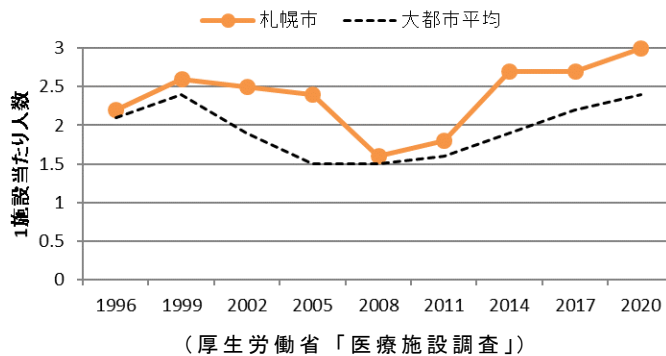
札幌市内の一般診療所に勤務する看護師及び准看護師の数は 2008 年に最少となったが、その後は徐々に増加し、2020 年には 4077.7 人<sup>15</sup>となった。人口 10 万人当たりの看護師及び准看護師の合計数は、2020 年の大都市平均では 210.6 人、札幌市では 208.1 人となっている。

図 1-36 一般診療所に勤務する看護師・准看護師数の推移



一般診療所 1 施設当たりの看護師及び准看護師の合計数は、2020 年の大都市平均では 2.4 人、札幌市では 3.0 人となっている。

図 1-37 一般診療所 1 施設当たりの看護師・准看護師数の推移



(5) 理学療法士

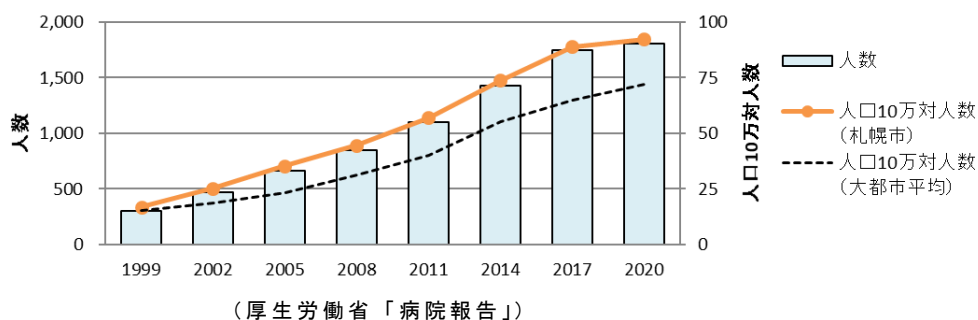
ア 病院に勤務する理学療法士

札幌市内の病院に勤務する理学療法士数は 1997 年から増加し続け、2020

<sup>15</sup> 1999 年までは実人数、2002 年以降は常勤換算後の人数

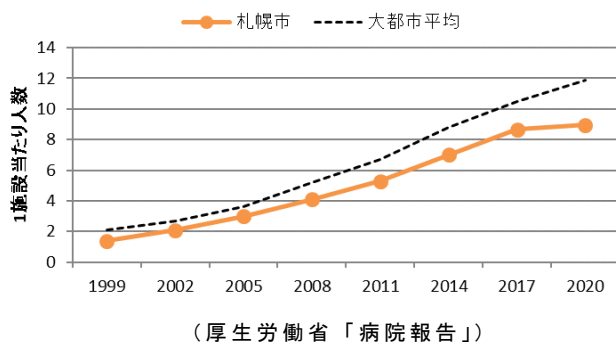
年には1807.8人<sup>16</sup>となった。人口10万人当たりの理学療法士数は、2020年の大都市平均では72.0人、札幌市では92.3人となっている。

図1-38 病院に勤務する理学療法士数の推移



病院1施設当たりの理学療法士数も増加し続けており、2020年の大都市平均では11.9人、札幌市では8.9人となっている。

図1-39 病院1施設当たりの理学療法士数の推移

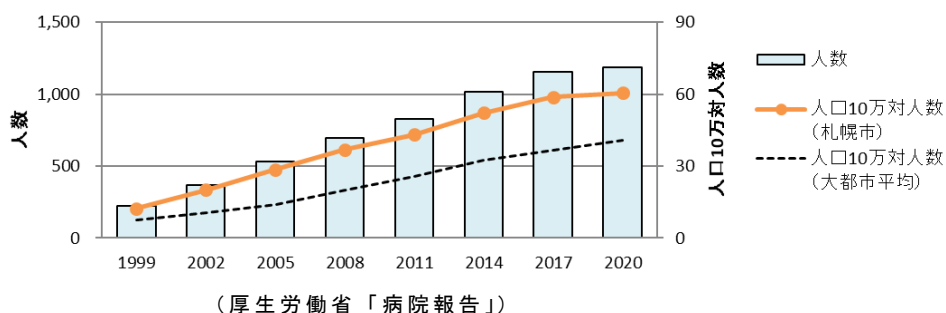


## (6) 作業療法士

### ア 病院に勤務する作業療法士

札幌市内の病院に勤務する作業療法士数は1997年から増加し続け、2020年には1183.5人<sup>16</sup>となった。人口10万人当たりの作業療法士数は、2020年の大都市平均では40.6人、札幌市では60.4人となっている。

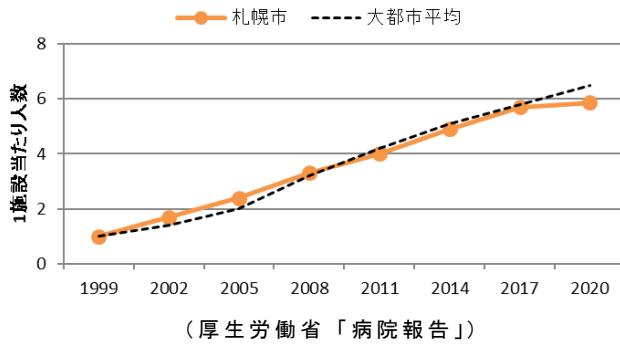
図1-40 病院に勤務する作業療法士数の推移



病院1施設当たりの作業療法士数も増加し続けており、2020年の大都市平均では6.5人、札幌市では5.9人となっている。

<sup>16</sup> 2001年までは実人数、2002年以降は常勤換算後の人数

図 1-41 病院 1 施設当たりの作業療法士数の推移

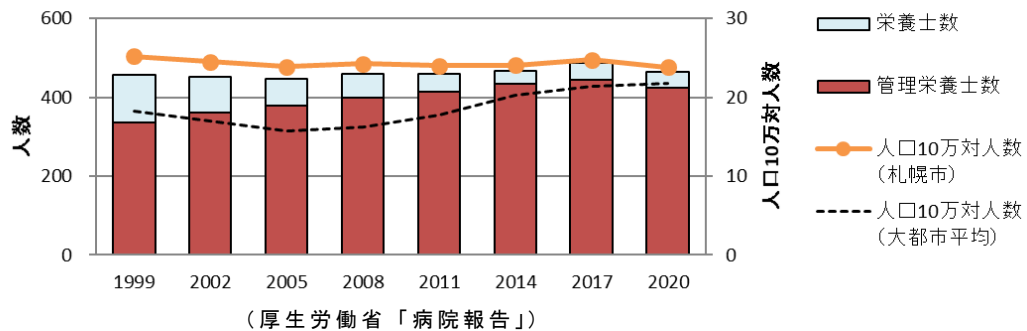


(7) 管理栄養士及び栄養士

ア 病院に勤務する管理栄養士及び栄養士

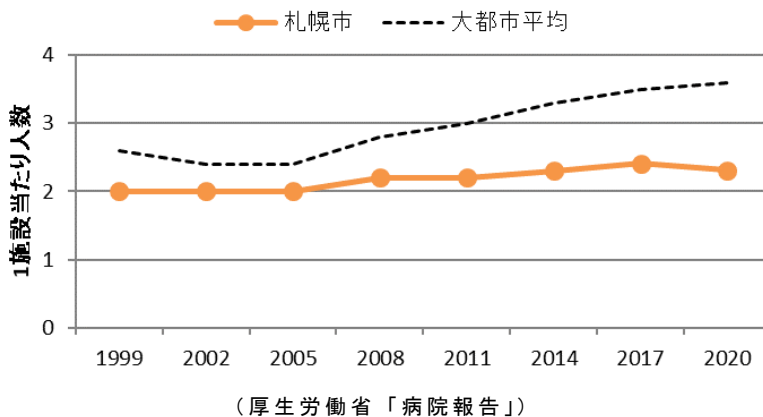
札幌市内の病院に勤務する管理栄養士の数は徐々に増加しているが、栄養士の数が減少しているため、その合計人数は 1997 年からほぼ横ばいであり、2020 年には 465.9 人<sup>17</sup>となった。人口 10 万人当たりの管理栄養士及び栄養士の合計数は、2014 年の大都市平均では 21.8 人、札幌市では 23.8 人となっている。

図 1-42 病院に勤務する管理栄養士・栄養士数の推移



病院 1 施設当たりの管理栄養士及び栄養士の合計数もほぼ横ばいであり、2020 年の大都市平均では 3.6 人、札幌市では 2.3 人となっている。

図 1-43 病院 1 施設当たりの管理栄養士・栄養士数の推移



<sup>17</sup> 2001 年までは実人数、2002 年以降は常勤換算後の人数

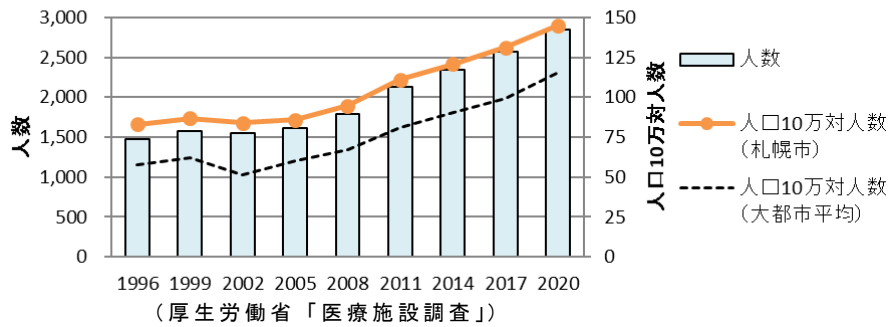


(8) 歯科衛生士

ア 歯科診療所に勤務する歯科衛生士

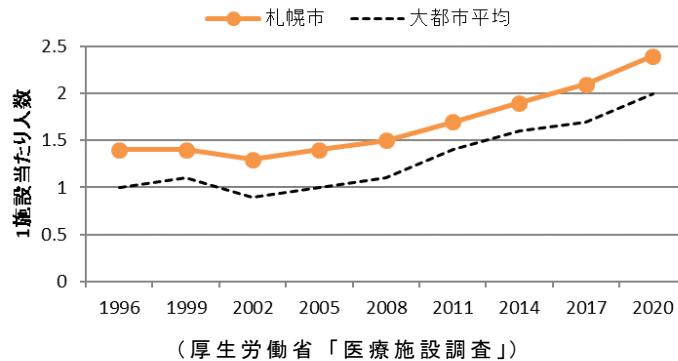
札幌市内の歯科診療所に勤務する歯科衛生士の数は 1996 年から 2005 年までは横ばいだったが、その後は増加し、2020 年には 2,841.2 人<sup>18</sup>となった。人口 10 万人当たりの歯科衛生士数は、2020 年の大都市平均では 115.5 人、札幌市では 145.0 人となっている。

図 1-44 歯科診療所に勤務する歯科衛生士数の推移



歯科診療所 1 施設当たりの歯科衛生士数も 2005 年以降は増加し、2020 年の大都市平均では 2.0 人、札幌市では 2.4 人となっている。

図 1-45 歯科診療所 1 施設当たりの歯科衛生士数の推移



<sup>18</sup> 1999 年までは実人数、2002 年以降は常勤換算後の人数